

美園トーク スタジオ

'18-19
season

《意見交換成果とりまとめ》

まちづくり進捗報告・意見交換会「美園トークスタジオ'18-19season」実施概要

- 日 時： 2019年1月19日(土) 10:00～12:00
- 場 所： 埼玉りそな銀行浦和美園出張所 2Fセミナールーム
- 主 催： 美園タウンマネジメント協会・みその都市デザイン協議会
- 企画運営： (一社)美園タウンマネジメント、さいたま市(環境未来都市推進課・浦和東部まちづくり事務所)
- 協 力： (株)埼玉りそな銀行(浦和中央支店浦和美園出張所)



綾瀬川遊歩道

こんな空間にしたい！

- 生物のいる水辺を大切に。
- 遊歩道をフットライトで明るく。(道路照明のようなものではなく景観に配慮)
- 水辺を活性化 → ●カフェやBARなど店舗の出店

遊歩道整備後の維持管理

- 水辺沿いの地権者の協力が必要。
- 地域が主体となり、草刈りや清掃などの維持活動を実施。
- 綾瀬川は、昔は汚ない川で有名だったが、綺麗になった。
- 小学生が清掃活動をする事で教育にもつながる。

大門上池調節池 底面広場

こんな空間にしたい！

- 浦和I.C.が近く、駅も近い。交通利便性に優れた場所という立地を生かすべき。
- アーバンスポーツやモータースポーツができる環境。
- ※舗装広場
(維持管理も芝生より容易！)
- イベント時含め利用者の快適性確保のため、トイレ・水場が必要。
- 収益事業(イベント等)を実施するにはフェンスが必要。

広場整備後の維持管理

- 地域の方々の日常利用でもイベントでも持続的に使っていけるよう、将来に亘りしっかり管理運営できる仕組みづくりが必要。
- 調節池で得た収益をどのようにまちへ還元していくか？
↓
●まちに還元できる仕組みづくりが必要。
- (参考)杉戸市の調節池では、使用した人が自主的に清掃を実施している。

日常の交通環境について

●駐輪場・駐車場が駅前に分散している。

●駅前の土地活用が進展したら、現・駐車場利用者は不便に？
(パーク&ライド需要はある)

●駅から若干距離のある地区に住む方々の定期利用駐輪需要は高い。

※同じくバス需要も見込まれる。

●地区内循環バスも今後必要ではないか？

※自動運転等の新技術は後年に追って導入。

●駐輪場・駐車場の集約化
(集約化に際しての立体化)

※道路高架下の有効活用も可能性あり？

※(参考)東川口駅など川口市内のSR沿線駅では公共駐輪場がベースにあった上で民間駐輪場が補完。

●地区内の自転車走行環境は比較的良好だが、生かしきれしていないのでは？

●駅前の送迎(キス&ライド)の需要が今後増える？
…雨の日、子ども塾通い等

サッカー開催日の交通

●臨時駐車場(の土地)は、サッカー開催日以外にはあまり活用されていない。

●美園に進出したい事業者がいても、地代が合わず躊躇するケースも多い。

●土地活用を支援する方策が必要。

●シャトルバスの発着地をより効率化できる？

※東京五輪開催時には夕方遅くorナイトゲームが開催。それも踏まえた対策が必要。

●サッカー先進国に倣い、サッカー開催日における地区内一定範囲の「バス専用化」もあり得る？

●持続可能な都市の姿を考えると、サッカー観戦における公共交通利用促進や自家用車利用減は必要。
(意識転換が重要！)

※自家用車観戦者は、主にどのエリアから訪れている？

※(参考)高校サッカー決勝の日は、国道122号線の渋滞は美園地区内だけでなく、川口市内から続いていた模様。

今後の課題

まちの【交通ビジョン】が必要！

※一方で、2020年東京五輪までにできる対応策とは？

●居住人口・来街者数の増加に対して、まちの交通ビジョンの整理が必要では？

※大型医療機関その他、地区内施設の進出に合わせた対応としても必要。

良い点

改善点

今の美園はこんなまち

生活

- 緑が少ない／減ってしまった。
・人口に比して緑が少ない。
- 生け垣助成制度の認知度
・道路沿い敷地際への植樹には市助成制度もあるが、知らない人も多く、連続した緑地が生まれない。
- 美園は植木・苗木が盛ん
・駅前空間に、日本庭園や生垣等を用いた演出を行う。
- 人工的な緑
・美園コミセンは、市施設にも拘らず入口植栽が「人工的な緑地」で寂しい。

生活

- 空が開けている
・富士山が見える。
- 広い道路
・バイクの騒音が問題視。
- ゴミ問題
・集積所が足りない。
・清掃当番の管理形態が良好でない。
- 転入者
・自治会加入が積極的ではない。
・「みんなで地域をつくる」という意識が希薄。

サッカーのまち

試合日

- イオンモールが混雑するため、買物に出掛けない。
※ 住民は車で美園を離れるか、極力外出をしない。

- 家々のベランダにサッカーのフラッグが出て、「サッカーのまち」の雰囲気が出る。

試合日以外

- 安定的な需要を得る事が難しい為、店舗が少ない。

- 飲食店が少ない。

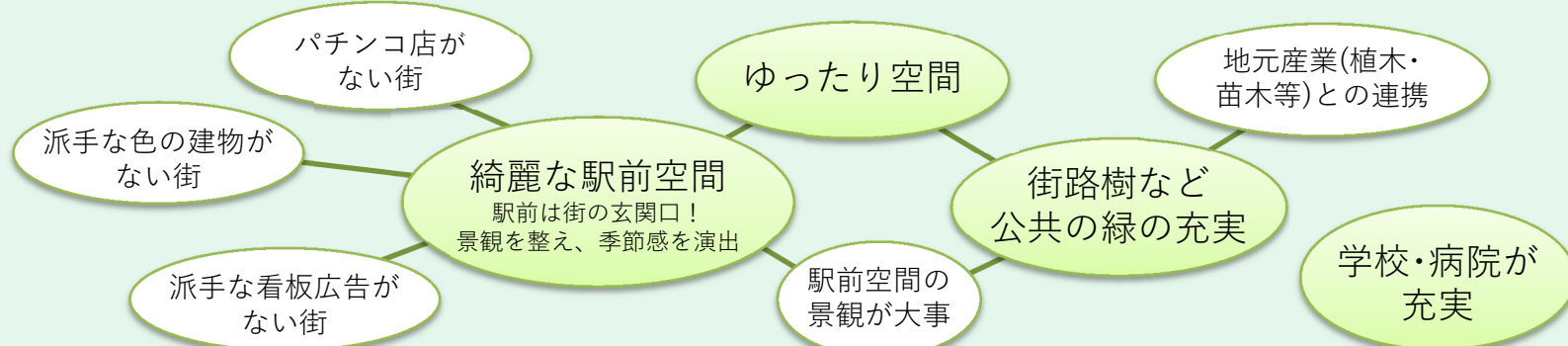
土地利用・街の機能

- 美園の需要で最低敷地面積150㎡は大きすぎる？
- 地権者・住民と行政が協力し、街をつくっていく必要がある。

駅前

- 地価が高い。
- 「商業地域」に見合うものが建設されない。
- 空き地・駐車場ばかり。
- 美園らしさが無い。

こんなまちにしたい！ 子供たちの世代まで住み続けていける街



美園らしい街
美園らしいとは？

- ・ サッカーのまち
- ・ 植木・苗木のまち
- ・ 新しいまち

浦和美園駅前の現状

- 他地区の人に「浦和美園駅の駅前には何もない」とよく言われる。
 - 土地が細分化されているうえ、容積率も生かしきれていない。
 - 駅前はずまの顔となるエリアだが、このままの状況が続くと街全体の価値が上がっていかない。
 - 今は人口も伸びているが、ゆくゆくは街が衰退してしまうのでは？
- ↓
- 個々の土地権利者の都合はあるが、駅前を変えていく必要はある。

活性化に向けて

大枠・方向性

- 各権利者の都合もあるため、いきなり駅前の姿を変えるのは難しいが、状況打破に向け、できることから、少しずつ変えていく。

機能

- 住民は駅前にどのような機能を求めているのか、しっかり把握すべき。
- ※自治会等を活用してアンケートを実施しては？
- ※ニーズに関するデータは、企業やテナント誘致の際の根拠としても活用できる。
- ランニングや、ロードバイクでサイクリングしている住民は多い。
- ※見沼田んぼへのランニング・サイクリングの拠点機能は需要があるのでは？
- 子育て世代の主婦たちはユニクス浦和美園内のタリーズをよく利用している。
- ※カフェニーズはあるのでは？
- 国道463号BP沿いのカフェ併設パン屋は、駅から離れた場所でも利用者は多いイメージ。
- ※駅前でも利用者が見込めるのでは？
- イオンモール浦和美園との差別化。

アイデア

- できることからやっていくこととして、地元の植木屋と連携して、クリスマス時に駅前でイルミネーションをやってみては？（駅前の印象が変わる）

その他

- 夏場の草刈りが行き届いてない。
- ※目に見える部分を整えるのも活性化に向けては大事。
- ある程度行政が主導しないと現状打破できない？

現状／課題

みその健幸マイレージ

- 参加費(1,000円)を払っても、必ずしも全ての人が健康ポイントで還元されている訳ではない。

- 参加費を払うことで、健康になるためのモチベーションにつながる。

いきいき元気教室

- 駅から遠い地区の住民ほど、事業への参加が少ない。

- 駅から遠い地区は、車で移動することが前提になってしまっている。

美園タッチウォーキング

- イオンモール以外のタッチスタンドには、車で回ってタッチしている人も見受けられる。

- 1人カード1枚で参加するルールだが、1人でカード複数枚タッチする人も見受けられる。

アイデア

つづける
(Continuation)

目標を持つ

- 測定会の実施。
・最初に体組成を測定し、目標(体重・体脂肪・筋肉量等)を設定
・事業終了時も測定し、目標に対する結果のフィードバック実施

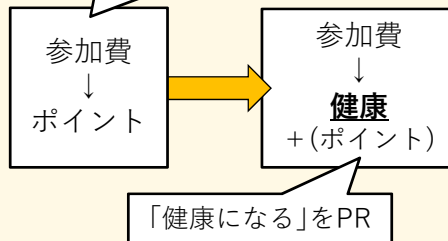
楽しさ

- 友達グループや家族で参加したくなる仕組み。

かえる
(Change)

- 健康ポイントのためではなく、健康のためと意識に変えていくことが重要。
(ポイントは、あくまでオマケ)

「ポイントが貯まる」をPR

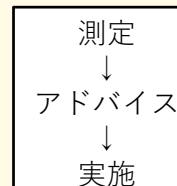


やるき
(Motivation)

- 変化を実感できる仕組み

- アドバイスをもらいたい

- 参加しやすい距離



地域毎で
教室開催

学校の活用

つながり
(Community)

- 健康行動を続けるためには、**仲間**が重要

- 仲間づくりの場になる

- 食事と身体とのつながり

- 農業(見沼田んぼ)など
地元とのつながり

- 地域企業とのつながり